



# 若葉小だより

No.470 12月号  
令和4年12月1日  
調布市立若葉小学校  
校長 生田目 将

HP <http://www.chofu-schools.jp/wakaba-sho/> E-Mail [wakaba-sho@chofu-schools.jp](mailto:wakaba-sho@chofu-schools.jp)  
「若葉小 未来につなげる みんなのわ」

## わかばっ子の健やかな成長を願って

校長 生田目 将

わかばステージ練習期間のご理解ご協力、子どもたちへの声掛け、そして当日のご参観に感謝申し上げます。大きな行事でまた一回り大きくなった子どもたちは、学期の終わりに向かってそれぞれが新たな取組を開始しております。引き続き、応援していきたいと思えます。

さて、子どもたちを応援・支援していく際に「ほめる」や「叱る」については悩むことは少なくないと思えます。先日「“叱ること”への依存症」に関わる本や半紙に触れました。そこで学んだことは、叱るを『言動を用いてネガティブな感情体験（恐怖、不安、苦痛、悲しみなど）や罰を与えることで相手の行動や認識の変化を引き起こし、思うようにコントロールしようという行為』と定義するならば、「叱る」ことは、叱られた対象者（児童）に対し学習効果を全く与えないということ。教師や保護者など、「怒ること」はいけませんが「叱ること」は必要であるとする習慣があるが、全くの間違いであることです。

私は、子どもへの問題点の指摘や共有は重要だが、

- ・その問題点をみんなの前で確認することはない（見せしめ）
- ・大きな声（怒鳴る）や不適切な言葉（汚い、醜い言葉）で問題点を指摘する必要はない
- ・罰を与えることはない
- ・恐怖を感じさせることはない

と考えます。

そのような、「叱る」という行為に対して、一時的あるいは一瞬だけ問題行動を叱られた対象者は中止するが、その言動が継続したり定着したりはしないそうです。「学び」をもたらす欲求のメカニズムがあり、そこには、報酬系回路と呼ばれるものが関係し、報酬を与えられたり、期待したりしたときに、欲しい・やりたいという欲求が生じるそうです。小学生の年代の子どもたちに向き合う我々としては、

報酬＝「ほめること」

欲しい・やりたい＝「学びたい」「成長したい」「なおしたい」

と捉えることができます。

“子どもは言って聞くもの” “一斉にみんな同じことをするもの” “伝えればすぐ効く”などと教師や保護者が錯覚しては、子どもたちの学びにつながりません。

しつけ、指導などに対し、これからも次世代の子たちへ何らかの形で大人として関わり続けることは間違いありません。子どもが「笑顔で健やかに成長」できるように、若葉地域の方々と以上のような考えを共有していきたいと思えます。

本校の学校だよりは SDGs (ESD)・GIGA スクール構想を鑑み、ペーパーレス化や校務改善等の観点からデジタル配信のみとしております。発行日には安全・安心メールにてお知らせいたします。市内各校や市長部局および本校関係諸機関様におかれましても、何卒ご理解ください。

# 遠足の思い出

先日、4年生と一緒に多摩動物公園に行きました。ずっと楽しみにしていたので、当日はワクワクしました。いつもは見られないオオカミやカンガルーなどの色々な種類の動物を見て嬉しかったです。特に、双眼鏡でライオンを近くで見た時は、とても感動しました。学校でできないことがたくさん学べた遠足でした。

私は遠足でたくさんの動物を見ました。どの動物もとても魅力的でしたが、中でもレッサーパンダが一番心に残っています。愛らしくてずっと見ていたくなるかわいさでした。また、遠足では4年生と行動したのですが、とても頼りになってすごいなと思いました。私もあんな4年生になりたいと思いました。

遠足で楽しかったことは、子どもだけで歩いたことです。見た動物でかわいかったのは、レッサーパンダとフクロウです。レッサーパンダはもふもふでした。ふくろうは目がパッチリ開いていてかわいかったです。4年生はみんなが疲れている時、「競争しよう！」と盛り上げてくれました。とても楽しかったです。

雨で延期になった遠足が、28日に無事に行けてよかったです。動物を見るときに、班のリーダーさんが時間を見てくれたので、ちょうど時間にお昼を食べられました。遠足で楽しい思い出を作れたのは4年生が上手に行動してくれたおかげなので、今度自分が4年生になったら、3年生によい思い出を作らせてあげたいです。

4年生との多摩動物公園。思い出に残ったレッサーパンダ、オランウータン。

レッサーパンダは赤ちゃんみたいでかわいかったです。オランウータンは綱渡りをしていて、ぼくは思わず「クモみたい。」と言っていました。

学校に帰るとき、動物たちが「また遊びに来てね。」と言った気がします。だからぼくはまた、多摩動物公園に行きたいと思いました。



3年生と遠足に行っていて楽しかったことは、班の友達と仲良く動物を見て回ったことです。3年生が「あれ見たい、これ見たい。」と言って大変だったけど、私が「行くよ。」と言うとすぐ来てくれて、協力してくれたので、嬉しかったです。また、リーダーというのはすごく大変だと気付いたので、3年生と多摩動物公園に行っていてよかったです。

遠足で楽しかったことは、3年生と一緒に動物を見たことです。たくさん歩いたり、3年生がどんどん進んでいったりで、とても大変でした。でもたくさん動物を見ることができたのでよかったです。お弁当も楽しかったです。みんなでレジャーシートを敷いて食べました。とっても疲れたけど、3年生と一緒に歩くことができ楽しかったです。

3・4年生と一緒に多摩動物公園に行きました。自己紹介をして、道順やめあてを決める準備の時間が楽しかったです。3年生はみんな元気よく、しっかりしていてすてきでした。動物ですごかったのはオランウータンです。姿がとても勇ましく、鳴き声をはじめて聞けました。これからも3年生の見本となるようがんばりたいです。

「疲れたあ。」たくさん歩いてとても疲れました。歩いているときも、お昼を食べているときも、チェックポイントのクイズをやっているときも、帰りの電車の中も、後半はどんなときでも「疲れた。」の一言でした。多摩動物公園はとても広くて、回るには時間がかかりました。でもその分、3年生と仲良くなることができよかったです。

# 12月の行事予定

## 12月の生活目標「すすんでそうじをしよう」

生活指導主任

2学期も残り1か月となりました。学習面ではまとめの月になりますが、生活面でも2学期を振り返る時期です。今月は「学校をきれいにしよう」をテーマに、クラスだけでなく「学校全体をきれい」にしていきます。

冬休みには、自分の身の回りもきれいに整え、新しい年を迎えてほしいと思います。

## いのちと心の教育月間への取組について

道徳科担当

調布市では12月を「いのちと心の教育」月間として、市内全体で生命の尊さを知り、自他の生命を大切にしようとする心情を養う取組を行っています。本校では、15日(木)に「生命の尊さ」を扱った道徳授業を全学級公開します。感染症対策の為保護者は各家庭1名、時間も15分ずつと限らせていただきます。

また、3・4時間目には、シンガーソングライターの玉城ちはるさんをお迎えし、「命の参観日」をテーマに道徳地区公開講座を行います。5、6年の児童とともに、生きることの大切さや命の大切さについて考えるよい機会にしたいと思っています。

## 教育活動アンケートについて

今年度も、「教育活動アンケート」を、安全・安心メールにて配信させていただきます。子どもたちや教職員について保護者の皆様にご意見を賜りますことお願いいたします。つきましては、ご多忙の中、誠に恐縮ではありますが12月12日(月)までに安全・安心メールにてご回答くださるようお願い申し上げます。

## 登下校の仕方や公共の場での遊び方について

保護者・地域の方から、「下校時に歩道を歩かず、車道に広がって歩いている。」「道路でボール遊びやキックボードに乗って遊んでいて危ない。」「駐車場で石を投げている。」「保護者がいても、きまりを守らず遊んでいる。」といったお話が届くことがあります。学校では、各学年の発達段階に応じて、「交通ルールに関する指導」や「公共の場所での過ごし方」、また「周囲の人の気持ちを考えて行動すること」等を繰り返し指導しています。ご家庭でも、自分も周りの人も、安全で気持ちよく過ごすことができるよう、ルールやマナーについて話題にしたいと思っております。

日	曜	主な行事
1	木	全学年4時間授業 個人面談 5年連合音楽会 いのちと心の教育月間始
2	金	全学年4時間授業 個人面談
3	土	
4	日	
5	月	全学年4時間授業 個人面談
6	火	全学年4時間授業 個人面談 5年脊柱側わん検診
7	水	全学年4時間授業 個人面談
8	木	6年薬物乱用防止教室 たてわり班活動
9	金	全学年4時間授業◎
10	土	
11	日	
12	月	クラブ活動
13	火	
14	水	5年1・2組社会科見学
15	木	道徳授業地区公開講座
16	金	5年3・4組社会科見学
17	土	
18	日	
19	月	4年5時間授業
20	火	給食終 40分掃除
21	水	全学年4時間授業◎
22	木	全学年4時間授業◎
23	金	終業式◎ いのちと心の教育月間終
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始

◎中休み10分

※下校時刻については、各学年便りをご覧ください。  
※感染状況や緊急事態宣言等により、予定は変更になる場合もあります。ご了承ください。